

生産者の皆様へ

JAひろしま  
呉地域営農経済センター 営農販売課

## 台風による農産物への被害軽減の対策について

この度の台風等により各作物への影響が懸念されております。  
各品目の次のような被害軽減対策し、生育回復・維持に努めましょう。

1. 生育回復のため、窒素成分が主体の葉面散布用液肥を散布する（特に果菜類・露地野菜など）
  - (1) 葉裏を中心に丁寧に散布しましょう
  - (2) 朝つゆが消えた午前中が効果的です。
  - (3) 気温の高い時間は障害が出やすくなるので、散布を控えましょう  
(くみあい液肥2号、 尿素など)
2. 水が引かず、根腐れが心配される  
圃場が冠水し、根腐れがおきないように強制的な排水をできるだけ早く  
行い土壌を乾燥させるようにしましょう。他にも酸素資材を施用すると効果  
的です。(ジェイジェイ酸素)

### 【水稻】

浸水・冠水を受けた圃場は排水に努めてください。  
白葉枯病、いもち病が発生しやすいので注意しましょう。  
(本田防除剤：オリゼメート粒剤等)

### 【野菜・花卉】

浸水・冠水を受けた圃場は排水に努めてください。  
土寄せや追肥、液肥の散布により生育回復に努め、傷んだ茎、葉の除去をし、  
殺菌剤の散布により病害の発生を防止しましょう。  
果菜類は、摘果により負担を軽減させてましょう。  
(主な病害) 疫病、炭疽病、軟腐病など

### 【果樹】

かいよう病・黒点病の発生に注意してください。  
前回防除より200ミリ以上の降雨があった場合は、補完防除をおこなって下さい。  
(かんきつ園管理を参照)